

## 平成 26 年度愛媛大学技術系実務研修報告

機械系 一柳 雅則  
機械・環境建設系技術班 十河 基介, 徳永 賢一

主 催：国立大学法人愛媛大学  
研修期間：平成 26 年 12 月 18 日（木）  
研修会場：愛媛大学工学部

### 1. 研修の目的

本研修は、技術系職員の業務を知り、実際に触れることにより、技術部の担う役割、技術部の業務について理解を深めるとともに、職員相互の意識及び資質の向上を図り、円滑な業務遂行に繋がることを目的としている。また技術職員は、講師として研修に参加することによるプレゼンテーション能力の向上を目的としている。

### 2. 研修概要

12 月 18 日に総合研究棟Ⅱ，工学部講義棟において以下のタイムスケジュールで研修を行った。

- 13:30ー 受付，開会
- 13:40ー 講義：講義科目「基礎科学実験」の概要
- 14:10ー 3 テーマに分かれて実験の体験
- 16:40ー 全体ディスカッション，アンケートの記入
- 17:00ー 閉会

実験は以下の 3 テーマで行った。

- ① 空気の力(講師：十河 基介)：気体における圧力，温度，体積に関する実験
- ② スターリングエンジン(講師：徳永 賢一)：スターリングエンジンの模型製作
- ③ 自転車の仕組み(講師：一柳 雅則)：市販自転車の分解と組立て

### 3. 研修内容

本研修に対して、事務系職員 11 名の参加があった。最初に「基礎科学実験」の概要についての説明をおこない、またこの実験における技術職員の役割、業務についての簡単な説明を行った。続いて 3 グループに分かれて実験を行った。

実験後に体験した実験内容や技術職員の業務についての全体ディスカッションを行った。

### 4. まとめ

今回、受講者には普段の業務とはあまり関係のない理系の基礎的な実験を行ってもらった。技術職員が講師を務めるにあたって、受講者には単に実験を行うだけではなく、この業務においてどのような点に気を付けているかについて、内容だけではなく、安全面等いろいろな話も織り交ぜて行い、意見交換を行いながら進めた。受講者に技術職員について知ってもらうだけではなく、事務系職員の視点から技術職員の役割および業務に対しての意見を聞くことができ、講師である技術職員側も業務に対してこれまでとは違う見方が出来るようになったと感じた。事務系、技術系職員の相互理解により、以降の業務における質の向上や協力体制の構築につながればと思う。